

園下 将大 先生

北海道大学 遺伝子病制御研究所
がん制御学分野
教授



■ 日時： 令和7年 9 月 11 日 木 17:00~18:30

■ 場所： 徳島大学 歯学部3F 講堂

タイトル 個体表現型スクリーニングによる
がん研究の加速

近年、がんゲノム等の網羅的解析手法が飛躍的に発展し、がんの新たな治療標的の同定や治療薬の開発が進んでいる。しかしその一方で、遺伝子機能の解明や治療薬候補の評価に不可欠な個体モデルの開発は、高いコストや長期間を要する作出プロセスなど、依然として課題も多い。我々はこれを解決すべく、ショウジョウバエと哺乳類モデルを相補的に活用して研究を推進している。本講演では、がん患者の遺伝子変異パターンを再現したモデルショウジョウバエの作出と、それを活用した個体レベルの治療標的や治療薬シーズの同定について紹介する。本研究基盤により、網羅的かつ迅速、さらに低コストでの解析が可能になり、さまざまながんの発生機序の解明や治療薬開発のさらなる加速につながると期待される。加えて、がん以外の疾患の研究への展開に関しても議論したい。